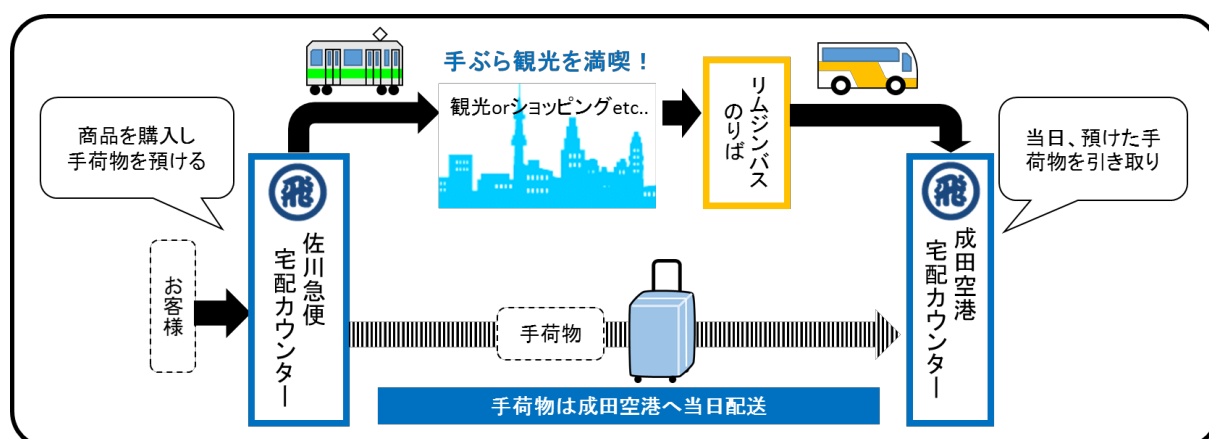


リムジンバス×佐川急便のコラボレーション
都心から成田空港へのリムジンバスに
空港への手荷物当日配送をセットしたサービスを開始します！
 ～手ぶら観光でらくらく空港アクセス！～

東京空港交通株式会社（本社：東京都中央区 社長：増井健人）と佐川急便株式会社（本社：京都府京都市 社長：荒木秀夫）は、両社のコラボレーションで開始する貨客混載事業による輸送の効率化、利便性向上等を図ることにより、都心と成田空港を結ぶリムジンバス乗車券と、成田空港への手荷物当日配送サービスをセットにしたお得な企画商品を2017年3月30日（木）から新たに発売いたします。

本商品を使用すると、スーツケース等の手荷物を成田空港まで当日配送することができ、お客様は好きな場所で手ぶら観光を満喫したあと、リムジンバスのネットワークを活かして最寄のバス停から成田空港へ向かうことができます。バス運賃と手荷物当日配送料金を別々に支払うよりも、非常にお得な価格（3,600円）です。訪日外国人旅行客をはじめ多くの旅行客に、便利に、お得に手ぶら観光をお楽しみいただけます。



（1）概要

商品名称：「プレミアムハンズフリーパッケージ」

・ご利用方法

- ① 佐川急便宅配カウンター（東京駅、浅草雷門、東京スカイツリー）にて商品を購入する。
- ② 手荷物を預ける（成田空港受取ターミナルを指定）
- ③ お客様は手ぶら観光を満喫。
- ④ ご都合の良い都心のリムジンバスのりばから成田空港行に乗車。
- ⑤ 成田空港 QL ライナー宅配カウンターにて手荷物を引き取る。

※本セット券にてお預かり可能な手荷物はお一人様1個までです。

（2）発売額

大人・小人同額…3,600円（リムジンバス片道乗車券＋佐川急便手荷物当日配送サービス）

(3) 発売（手荷物お預け）箇所

- 佐川急便 TOKYO SERVICE CENTER（東京駅日本橋口）
受付時間：7時～14時
- 佐川急便 浅草雷門サービスセンター
- 佐川急便 東京スカイツリーサービスセンター
受付時間：9時～11時

※営業時間などの詳細については、佐川急便WEBサイト『東京手ぶら観光のススメ』をご覧ください。URL:<http://www.sagawa-exp.co.jp/ttk/>

今後、発売箇所を順次拡大予定（佐川急便宅配カウンター、ホテル等）

(4) リムジンバス利用可能路線

- リムジンバス 東京23区内※ ⇒ 成田空港 線
※東京駅・東京シティアターミナル・新宿・池袋・渋谷・赤坂・六本木・品川・お台場 等

(5) 手荷物受取ターミナル

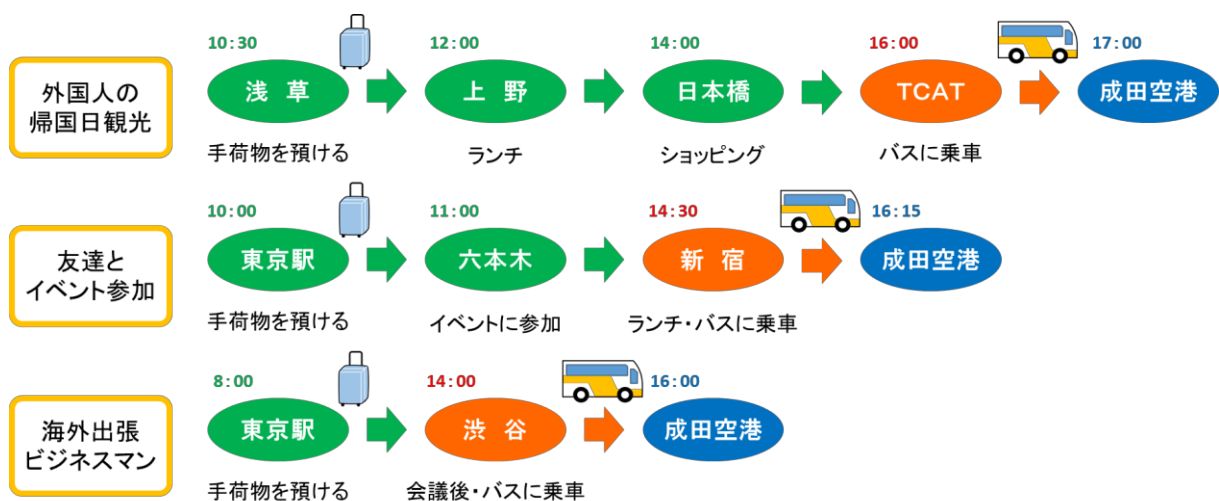
- 成田空港 第1ターミナル・第2ターミナル出発階のQLライナー宅配カウンター
※第3ターミナルをご利用のお客様は、第2ターミナルにてお受け取りください。

受取時間：当日 17時～21時

(6) 発売開始日

2017年3月30日（木）

(7) モデルコース



上記モデルコースに捉われず、様々なシーンでお使いになれます。
お客様の旅行プランに合わせて、本商品をご活用ください。

以上

「プレミアムハンズフリーパッケージ」実施に伴う貨客混載輸送の実施について

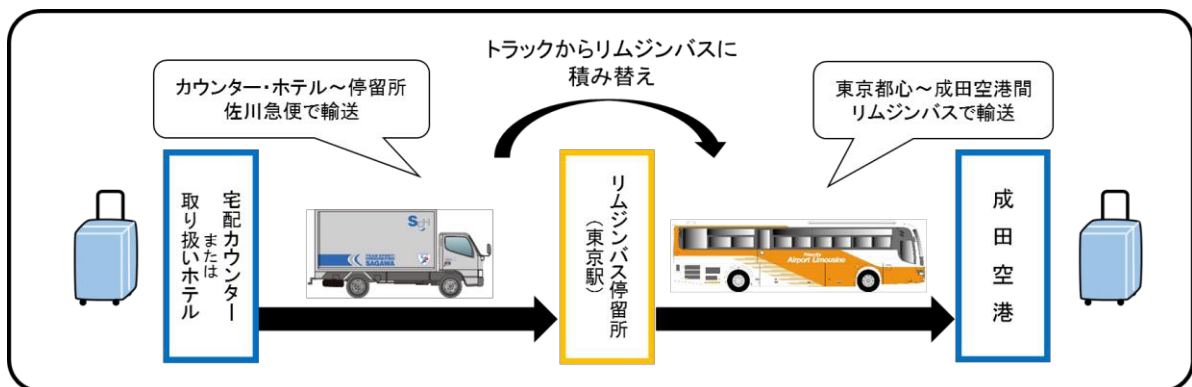
本パッケージ商品の販売に合わせ、東京空港交通株式会社と佐川急便株式会社では、リムジンバスの空き荷物スペースを活用した貨客混載輸送を実施いたします。



▲宅配カウンターからの搬送の様子



▲リムジンバス荷物スペース



▲貨客混載輸送の流れ（一例）

お客様からお預かりした手荷物を佐川急便の配送ネットワークによりリムジンバスの停留所まで輸送し、都心から成田空港間をリムジンバスに載せ換え輸送します。都心から成田空港への荷物輸送にリムジンバスの荷物スペースを利用することにより、輸送の効率化による環境負荷の低減と省力化を図ることが可能となります。更に、手ぶら観光サービスと組み合わせることで、空港当日配送の受付時間、取り扱いエリアを拡大することができ、従来に比べ、より利便性の高いサービスをお客様へ提供することが可能となります。

二社では、この取り組みを新たなビジネスチャンスと捉え、お客様のニーズに合わせたより上質で利便性の高いサービスの提供に取り組んで参ります。

このニュースに関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

東京空港交通株式会社 経営企画部 経営企画課 電話 03-3665-7125

佐川急便株式会社 経営企画・広報部 広報課 電話 03-3699-3614

2017年4月19日

報道関係者各位

 北越急行株式会社
 佐川急便株式会社

北越急行と佐川急便が取り組む貨客混載列車運行開始

～ 地域活性化と駅利用者の利便性向上を目指して ～

北越急行株式会社（本社：南魚沼市、代表取締役社長：渡邊 正幸 以下「北越急行」）と佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：荒木 秀夫 以下「佐川急便」）は、2016年6月に貨客混載事業に取り組むことに合意し、本格稼動を目指して実証実験を重ねてきました。このたび4月18日から本格的に運行を開始しました。

尚、旅客列車を利用し、新たな貨物輸送サービスを提供するとともに、輸送の効率化、環境負荷低減等を図る本貨客混載事業は、改正物流総合効率化法に基づく、総合効率化計画として認定されました。

1. 実施概要

実施日 2017年4月18日（火）より
 列車 854M 六日町駅（20:10着 20:13発） ～ うらがわら駅（20:50着 20:53発）
 857M うらがわら駅（21:06着 21:09発） ～ 六日町駅（21:48着）
 車両 北越急行所属HK100 2両編成
 運行 平日のみ（土、日、祝は貨物輸送は行いません）

◇貨客混載のフロー図


カーゴ積み込み作業の様子

2. 背景

北越急行では、地域の公共交通として、上越新幹線、北陸新幹線をはじめ他の鉄道との接続改善を図り、鉄道ネットワークの強化に貢献するとともに、地域に密着した輸送体系を構築し利便性の向上と利用者の確保に向け、沿線自治体等と緊密に連携を図りながら取り組んでいます。

佐川急便では輸送ネットワークの効率化による配送品質の向上に取り組んでおります。定時運行と安定輸送を実現できる鉄道を幹線輸送に活用することで、渋滞などによる到着遅延を防止できることから安定的な幹線輸送を実現することが可能となります。またモーダルシフトの実施により環境負荷低減にも寄与できると考えています。

3. 引き続きの検討事項

■地域活性化および駅利用者の利便性向上の主な取り組み

- 1). 駅利用者の利便性向上を目的とした宅配カウンターの設置
- 2). 不在再配達の荷物引き取り用宅配ボックスを駅構内に設置



左から国土交通省北陸信越運輸局 局長 江角 直樹 様
佐川急便（株）取締役 内田浩幸
北越急行（株）代表取締役社長 渡邊 正幸



認定書授与の様子

NEWS RELEASE

2017(平成 29)年 9 月 7 日

報道関係者各位

佐川急便株式会社

高山市～松本市間で貨客混載事業の実証実験を開始

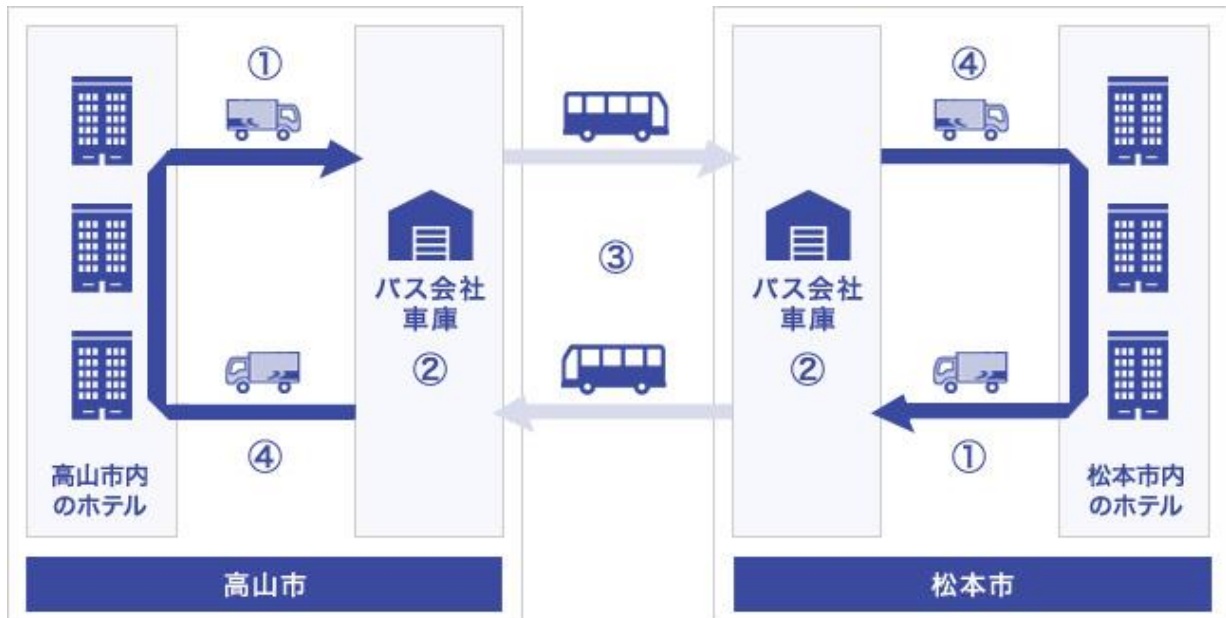
中部運輸局、路線バス会社 2 社と共同で手ぶら観光サービスを提供

SG ホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:荒木秀夫)は、国土交通省中部運輸局(所在地:名古屋市中区)、濃飛乗合自動車株式会社(本社:岐阜県高山市、代表取締役社長:齋藤尚正)、アルピコ交通株式会社(本社:長野県松本市、代表取締役社長:三澤洋一)の路線バス会社 2 社と共同で、岐阜県高山市～長野県松本市間において手ぶら観光サービスの提供を実現するため貨客混載事業の実証実験を 8 月 28 日より開始しました。

高山市と松本市の間には上高地・乗鞍・新穂高など多くの観光地が存在し、さらに高山市は古い町並みに代表される歴史と伝統が息づく城下町、松本市は国宝松本城を擁しており、外国人を含む多くの観光客が訪れます。両都市間の移動は高速バスの利用が主な手段となっていますが、大きいサイズの手荷物を携行する傾向が高く、観光地での行動を制限されることがあります。

このような背景のもと、当社は手ぶらで観光できる環境の定着に向けて、バス事業者等と連携して貨客混載事業の実証実験を行います。観光客が自ら荷物を運ぶ必要がなくなることで利便性が向上し、当該地域の観光の活性化に貢献できるものと考えています。

《運用フロー》



- ①観光客がチェックアウト時に提携ホテルで預けた荷物を、当社ドライバーが集荷。バス会社の車庫で集荷した荷物を預ける
- ②バス会社の車庫で、高山～松本間の高速バスの荷室に手荷物を積み込む
- ③高速バスが高山～松本間を輸送
- ④バス会社の車庫で、送られてきた荷物を当社ドライバーがお預かりし、高山市・松本市内の提携ホテルに届ける

【受付時間】集荷 10 時(高山市内、松本市内それぞれのホテルに 19 時までにお届けします)

【料金】飛脚ジャストタイム便の料金

《実証実験期間》

8 月 28 日～11 月 15 日

佐川急便では今後も観光客の利便性向上に向けて、手ぶら観光関連サービスの充実を目指します。

*SG ホールディングスグループ

純粋持株会社SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社・外郭団体で構成

報道関係お問い合わせ先
佐川急便(株) 経営企画・広報部
TEL:03-3699-3614 FAX:03-3699-3444

NEWS RELEASE

2017(平成 29)年 9 月 8 日

報道関係者各位

佐川急便株式会社

愛媛県内の自転車旅に新たな手ぶら観光サービス「バスパ」を開始

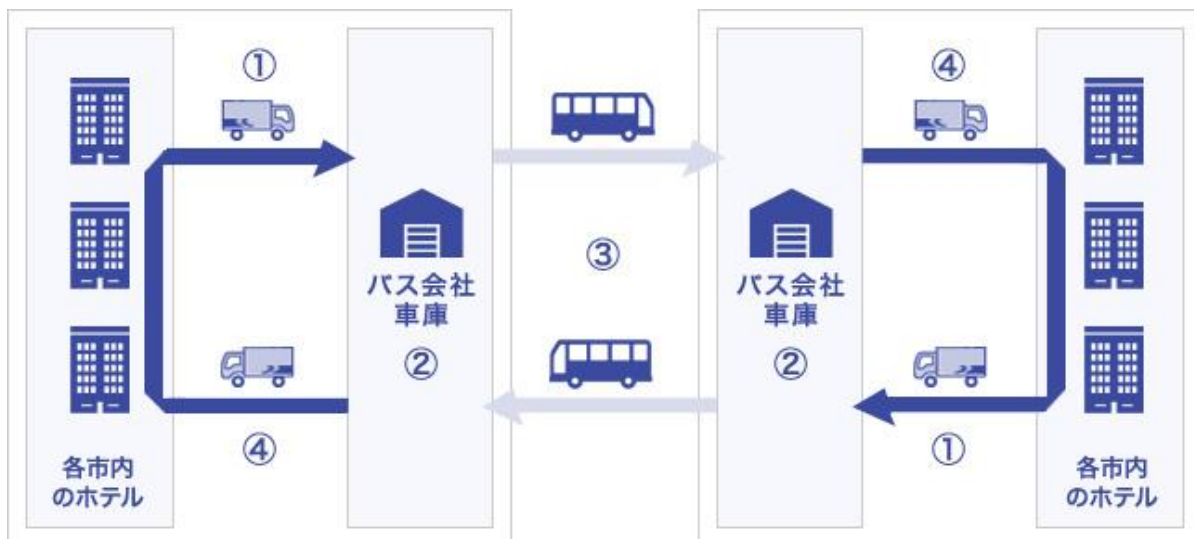
路線バス会社 3 社と共同で愛媛県初の貨客混載事業

SG ホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:荒木秀夫)は、愛媛県内を自転車で巡る観光客を対象とした手ぶら観光サービス「バスパ」を伊予鉄道株式会社(本社:愛媛県松山市、代表取締役社長:清水一郎)、宇和島自動車株式会社(本社:愛媛県宇和島市、代表取締役社長:村重敦)、瀬戸内運輸株式会社(本社:愛媛県今治市、代表取締役社長:瀧山正史)の路線バス会社 3 社と共同で 9 月 8 日より開始します。なお、この取り組みは愛媛県で初めての貨客混載事業となります。

愛媛県内を訪れる観光客は年々増加しており、その中でもしまなみ海道を使用して愛媛県内を周遊するサイクリストが増加しています。コインロッカーを探す手間や大きな手荷物の持ち運びが不便なことなどから、サイクリングや周遊観光などの旅行を十分に楽しめないなどの観光客の誘客や広域観光の促進などにおいて課題がありました。観光振興の一環として、観光客やサイクリストの利便性向上に向けて、新しい手ぶら観光サービスを提供するものです。

当社ではこれまでに、尾道～今治間の手荷物輸送を行う「しまなみ海道手ぶらサイクリング」を 2015 年 5 月から、また、松山空港～松山市内間の手荷物輸送を 2016 年 8 月から行ってきました。今回の新たなサービス「バスパ」は、しまなみ海道を利用して今治に来たサイクリストが愛媛県内各地に向かう際、あるいはその逆ルート、および松山市・八幡浜市・宇和島市・今治市間を観光する方の手荷物を輸送するもので、お預かりした手荷物は、路線バスの荷室に積み込み、各社の車庫で佐川急便のドライバーが手荷物を受け取った後にホテルなどの宿泊先にお届けします。

当サービスを利用することで愛媛県を訪れるサイクリストの手荷物に対する不安・心配を取り除くことができ、利便性の向上につながります。



- ①観光客がチェックアウト時に提携ホテルで預けた荷物を、当社ドライバーが集荷。バス会社の車庫で集荷した荷物を預ける
- ②バス会社の車庫で、各都市間の路線バスの荷室に手荷物を積み込む
- ③路線バスが各都市間を輸送
- ④バス会社の車庫で、送られてきた荷物を当社ドライバーがお預かりし、各市内の提携ホテルに届ける

《サービス概要》

受付時間: 午前 10 時まで(宿泊ホテルには午後 6 時までに配送)

受付場所: 松山市、八幡浜市、宇和島市、今治市内の提携ホテル 82 ヶ所、松山空港内当社宅配カウンター
(受取場所も同じ)

利用料金: 飛脚ジャストタイム便の料金

※提携先ホテルについては佐川急便営業所にお問合せください

佐川急便は、地域の観光振興に向け、手ぶら観光や貨客混載事業など新しいサービスを開発・提供して参ります。

*SG ホールディングスグループ

純粋持株会社SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社・外郭団体で構成

報道関係お問い合わせ先 佐川急便(株) 経営企画・広報部 TEL:03-3699-3614 FAX:03-3699-3444
--

NEWS RELEASE

2017(平成 29)年 10 月 31 日

報道関係者各位

佐川急便株式会社

乗合タクシーを活用した貨客混載事業を開始
 新たな貨客混載事業による生産性向上、地域交通インフラの活性化を推進

SG ホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:荒木秀夫)は、旭川中央ハイヤー株式会社(本社:北海道旭川市、代表取締役社長:柏葉健一)と、11月1日から乗合タクシーを活用した貨客混載事業を開始します。

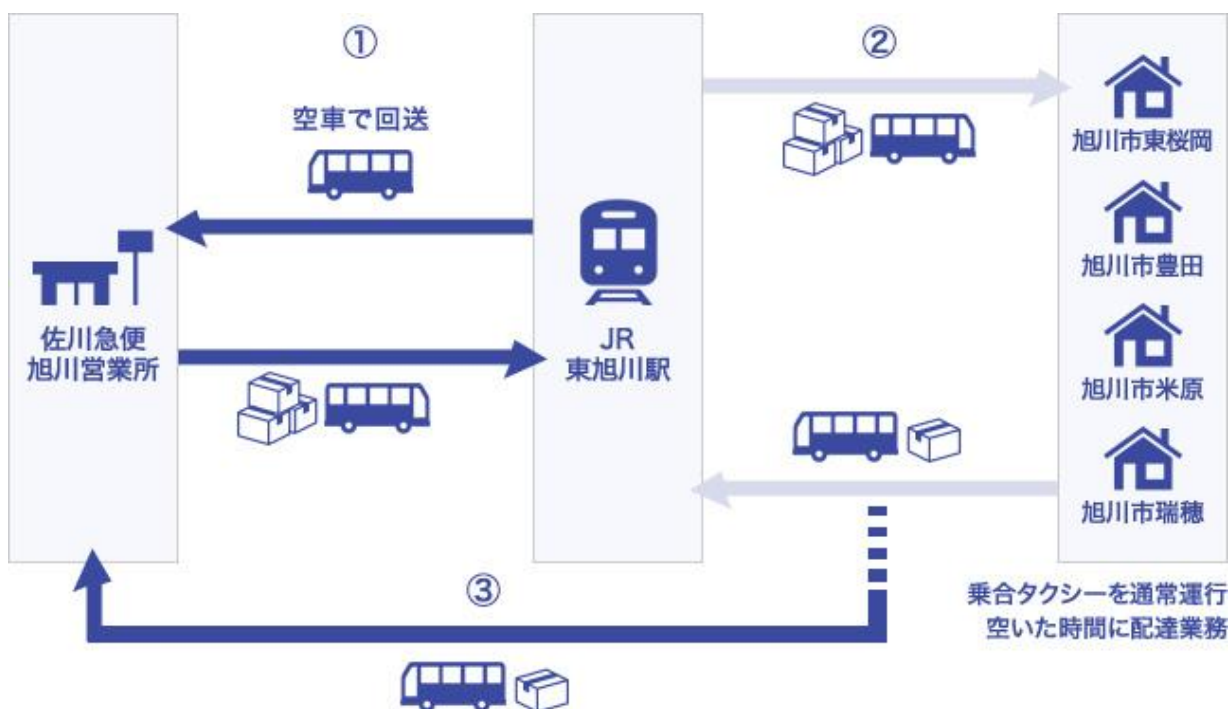
1.背景

自動車運送業の担い手不足と人口減少等に伴う輸送需要(旅客)の減少により、特に、過疎地域等においては、人流及び物流サービスの維持が重要な課題となっています。このような状況下、旅客又は貨物の運用に特化してきた従来の輸送のあり方を転換し、一定の条件のもと旅客と荷物を運ぶ「かけもち」ができるよう、規制が緩和されました。本制度を活用して、当社は旭川中央ハイヤーの乗り合いタクシーで宅配便を運ぶ新たな貨客混載事業を始めます。

2.事業概要

旭川中央ハイヤーの乗り合いタクシーは、JR東旭川駅と約20キロ離れた米飯(ペーパン)地区(「東桜丘」「瑞穂」「米原」「豊田」の4地区を総称した地名)間を、住民の予約に応じて平日10便、土日7便運行しています。今回計画している配達エリアは旭川市米飯地区、東旭川駅周辺で、予約のない時間帯を乗り合いタクシーの運転手が個別配達するものです。

《運用フロー》



- ①往路 1 便目運行後、旭川営業所で配達荷物を受け取る。受け取った後は JR 東旭川駅から通常運行
- ②乗車待ち、空車時間など運行の合間を利用して配達
- ③配達業務を終えたら、旭川営業所で不在などの未配達荷物を引き渡して業務終了

《開始日》 11 月 1 日(水)

《配達対象エリア》 旭川市米飯地区(「東桜丘」「瑞穂」「米原」「豊田」)、東旭川駅周辺

佐川急便では、新たな配送モードの構築による効率化を目指すと共に、地域活性化に貢献できる取り組みを積極的に進めていきます。

*SG ホールディングスグループ

純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社・外郭団体で構成

報道関係お問い合わせ先 佐川急便(株) 経営企画・広報部 TEL:03-3699-3614 FAX:03-3699-3444
--